



編集 SEF 事務局
 連絡先 086-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「平昌冬季オリンピックに思う」 **理事 長本啓仕**

平昌冬季オリンピックも終わり、ようやくメディアの発信も落ち着きを取り戻した感じがします。日本選手団も長野を超えた 13 個のメダル獲得と、多数の入賞者が出るなど、活発で面白い大会だったと言えるのではないのでしょうか。特に女子スピードスケートの成績は圧巻で、競技自体だけでなく、ライバルに対する心遣い、労わりの姿は、見ていて清々しいものであったと思うのは私だけではなからうと思います。ただ今回ほど政治が絡む大会は他に類を見ません。過去には第 22 回夏季オリンピックでソビエト連邦のアフガニスタン侵攻に対して、日本も含めた当時の自由主義諸国が参加をボイコットすると云う、ある国の政策に対して反発するケースも有りましたが、今回はオリンピックそのものを政策に組み込んでしまった正にオリンピック憲章を逸脱したものだと思わざるを得ません。半島情勢はますます混沌となった感じがします。

情報過多の時代に如何に正しい情報を選ぶのか、難しい選択が求められます。

2 月度(第 173 回)理事会報告(2 月 28 日)

1. 事務局体制の件	→可決承認	5. 平成 30 年度年間スケジュールの報告	→報告了承
2. H30 年度運営方針の件	→継続審議	6. 会議室の件	→報告了承
3. 事務所契約の件	→可決承認	7. H30 年 1 月度会計収支報告の件	→報告了承
4. 入会、準会員、への変更、退会報告	→報告了承	8. 新賛助会員の報告	→報告了承

事業報告： SEFフォーラム 時事問題研究会 **担当理事 波多野正幸**

時事問題研究会は、2013 年 11 月から 8 人で「原発問題研究会」としてスタートして、その後「エネルギー問題」、「日本の産業構造の研究」、「日本の産業の未来戦略」、「将来の諸問題」を 2017 年まで、ほぼ 10 名前後で活動した。2017 年は技術問題を離れて、時事問題を取り上げ、「英国 EU 離脱」、「トランプ政権」、「AI の社会」、「アベノミクス」について研究を行った。会員の諸事情で出席人数が少なく 4~5 名で推移しました。次年度(2018 年)は引き続き「アベノミクス 5 年」、「日本の財政金融政策・財政規律」などの時事テーマで実施予定ですが、加えてテーマ、活動の内容検討が必要な時期にあります。

SEFサロン 第 104 回案内 **担当理事 白崎善宏**

《 第104回:案内 》
 日時:2018 年3月20日(火) 18時 場所:青学会館内アイビーホール 1F「フェリア」
 演題:「バイオプラスチック」開発の現状と今後の課題
 講師:猪俣 勲氏 ITI コンサルタント事務所 チーフコンサルタント

猪俣氏は 三菱化学(株)さらに三菱樹脂(株)でバイオプラスチック関連の事業に関与され、日本バイオプラスチック協会顧問としても認証制度の創設に関与されたバイオプラスチックの権威です。この技術は地球温暖化対策の一つとしてさらに再生可能な資源からの製造等の視点から世界的に注目されています。しかし、すべてのプラスチックをバイオに置き換えるには食料の安定供給に支障を来す等の問題があり、非可食性のバイオマス利用促進等の課題も多くあります。興味深いお話が拝聴できるこの機会に、是非参加されますようお願い致します。

3 月度会員動向

<p>会員入退会</p> <p>正会員入会 1名(岩崎昶氏)</p> <p>正会員から準会員へ 1名(才田智之氏)</p> <p>準会員退会 1名(有田貞一氏)</p> <p>賛助会員入会 1社</p> <p>(計電エンジニアリング株式会社)</p>	<p>3 月 1 日 会員数</p> <p>正会員-31名、準会員-37名、賛助会員-4 社</p>
--	---